

平成22年4月23日(金)
国土交通省関東地方整備局
東京港湾事務所

記者発表資料

平成22年度東京港湾事務所の事業概要について

国土交通省東京港湾事務所では、首都圏の産業の国際競争力を強化するため、東京臨海部の物流の円滑化・交通渋滞の緩和を目指し、「東京港臨海大橋(仮称)」の整備を進めているところです。平成22年度においては、「東京港臨海大橋(仮称)」を含め以下のプロジェクトを実施していきます。

1. 東京港臨海道路Ⅱ期整備事業

東京臨海部の道路ネットワークを拡充し、物流の効率化を図るため、開港70周年にあたる23年度上半期の開通を目指し、中央防波堤外側埋立地から江東区若洲に至る約4.6kmの臨港道路の整備を進めます。

22年度は、9月末迄に航路を跨ぐ東京港臨海大橋(仮称)のトラス桁と箱桁を含む全ての橋桁を架設します。その後、電気設備工事と橋面工事等に着手していきます。

本年5月のトラス桁架設時には、プレス関係者を対象に現場見学会を実施します(「別添」参照)。



2. 東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業

今後世界の主流となる8,000個積み、10万トン級の大型コンテナ船の入港を可能とするため、岸壁の水深を国内最大級の16mとし、首都圏の国際競争力を強化します。22年度は、航路等の浚渫を進めるほか、岸壁の細部設計、環境アセスメントの手続き等を進めます。

3. 東京港中央防波堤内側地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

国内の海上輸送ネットワークの効率化を図るため、岸壁の水深を9mとし、内貿ユニット貨物を運ぶ船舶の大型化に対応した新国内海上物流ターミナルの整備を進めます。22年度は、岸壁の細部設計及び埋立申請等の手続きを行い、既設護岸前面の土砂撤去工事、岸壁の本体となるL型ブロックの製作に着手します。

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

所属	東京港湾事務所	
氏名	とべ かずのり 戸部一徳、工務課長	ふるかわ まさみ 古川正美
副所長		
電話	03-5534-1362	
FAX	03-5534-1370	

【継続】

とうきょうこうなんぶちくとうきょうこうりんかいどうろ きせいびじぎょう
 東京港南部地区東京港臨海道路Ⅱ期整備事業

平成22年度事業費：88.1億円

とうきょうとない
東京都内

1. 事業の必要性及び概要

東京港は、都市活動の多様な要請に対応するため、臨海副都心開発や新海面処分場等の整備が進められています。港湾施設についても、内港地区の再開発に伴い、中央防波堤内側地区に新規の複合一貫輸送ターミナルの整備や中央防波堤外側地区に新規の国際海上コンテナターミナル等の整備が行われており、それらから発生・集中する物流関連交通量を円滑に流す必要があります。

国土交通省では、我が国の国際競争力の強化の観点から東京港の港湾物流の利便性の向上と物流コストの削減の一環として本事業を推進しており、あわせて都内の渋滞緩和にも寄与することが期待されています。

◎全体計画

事業箇所	：中央防波堤外側埋立地～江東区若洲
事業内容	：橋梁、道路
全体工期	：平成14年度～平成23年度上半期

2. 期待される整備効果

港湾関連貨物車両が臨海道路を利用することにより、輸送費用の削減、輸送時間の短縮及び排出ガスの減少等の整備効果が期待できます。また、都心部の渋滞緩和への寄与が期待されます。

○計画交通量：1日当たり約3万5千台

○移動時間：約4割短縮〔中央防波堤外側埋立地～江東区新木場〕

○経済効果：年間約300億円

○周辺道路の渋滞緩和：約2割減〔国道357号〕、約3割減〔青海縦貫〕

3. 位置図及び概要図



4. 平成22年度の事業予定

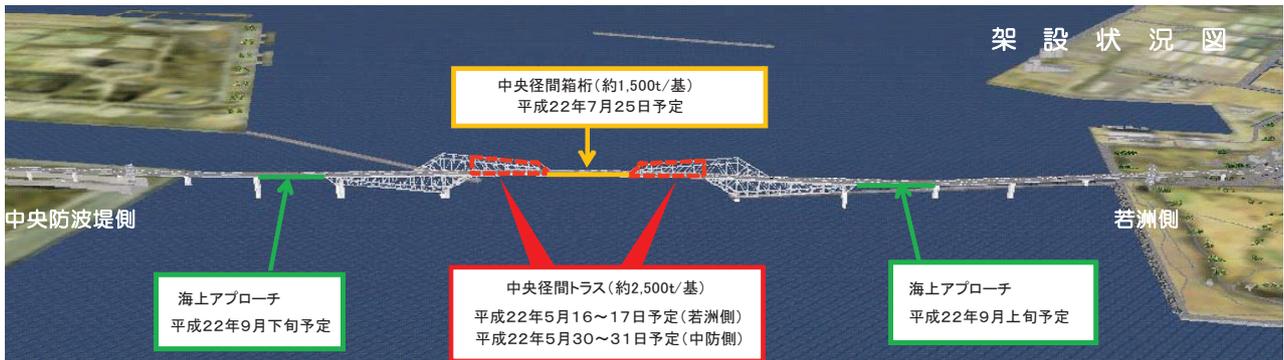
(1) 橋梁部（海上）

◎橋梁の架設工事は、以下の予定で行い、9月末までに完了する予定です。

- ①若洲側及び中央径間トラス（約2,500t/基）
 - ・架設予定：若洲側（5/16～17）、中央防波堤外側（5/30～31）
- ②中央径間箱桁（約1,500t/基）
 - ・架設予定：7/25
- ③中央防波堤外側及び若洲側海上アプローチ部
 - ・架設予定：若洲側（9月上旬）、中央防波堤外側（9月中旬）

◎架設終了後、電気設備及び橋面工事に着手します。

◎中央防波堤外側及び若洲側に変電棟建築工事を行います。



図－1 橋梁部（海上）架設位置図



図－2 橋梁部（海上）のライトアップのイメージ

(2) 道路部（陸上）

◎本線と側道の舗装工事及び昇降施設アクセス歩道並びに周辺整備工事を行います。

◎中央防波堤外側の陸上アプローチ部の桁下空間に太陽光発電設備（定格発電容量約200kw相当）の製作設置工事を行います。〔発電容量200kwは、一般家庭の使用電力の約50世帯分に相当〕

【継続】

とうきょうこうちゅうおうぼうはていそとがわちくこくさいかいじょう
 東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業
 せいびじぎょう
 平成22年度事業費：19.8億円

とうきょうとない
 東京都内

1. 事業の必要性及び概要

国土交通省では、我が国の国際競争力強化の観点から世界標準となる国際海上コンテナターミナルの整備を進めています。この事業により、欧米基幹航路も含む国内外をつなぐシームレスな物流網を形成し、首都圏全域の産業基盤の強化が期待できます。また、構造を耐震強化岸壁とすることで大規模地震時にも、その機能を維持します。

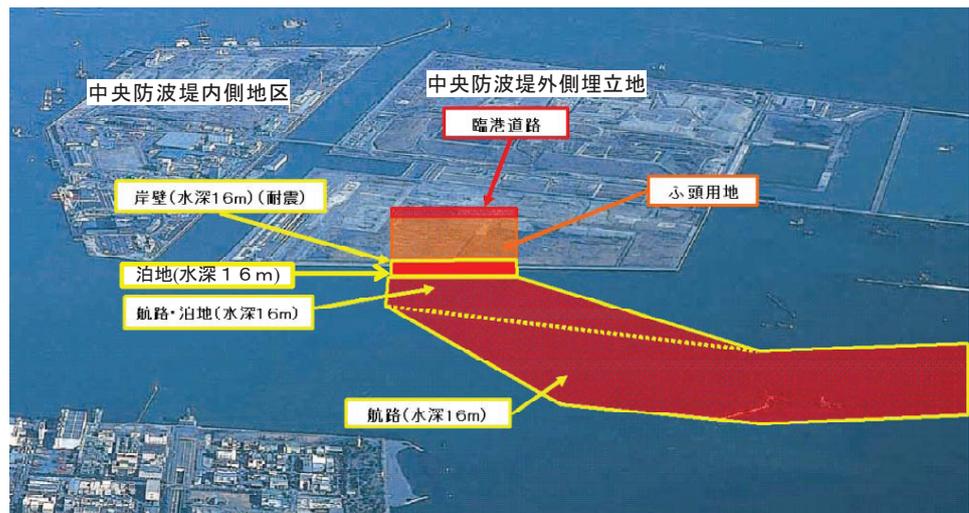
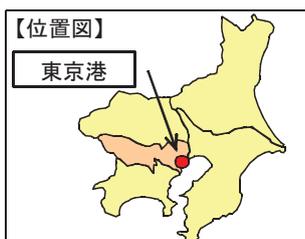
◎全体計画

事業箇所	：中央防波堤外側地区
事業内容	：岸壁（水深16m）（耐震強化） 航路（水深16m） 航路・泊地（水深16m）等
全体工期	：平成19年度～平成24年度予定

2. 期待される整備効果

世界標準となるコンテナターミナルを整備することにより、今後世界の主流となる8,000個積みの大型コンテナ船の入港が可能となり、物流コストの低減と国際競争力の強化が図られます。また、大規模地震時にも機能を維持し、国際コンテナ貨物の輸送を継続します。

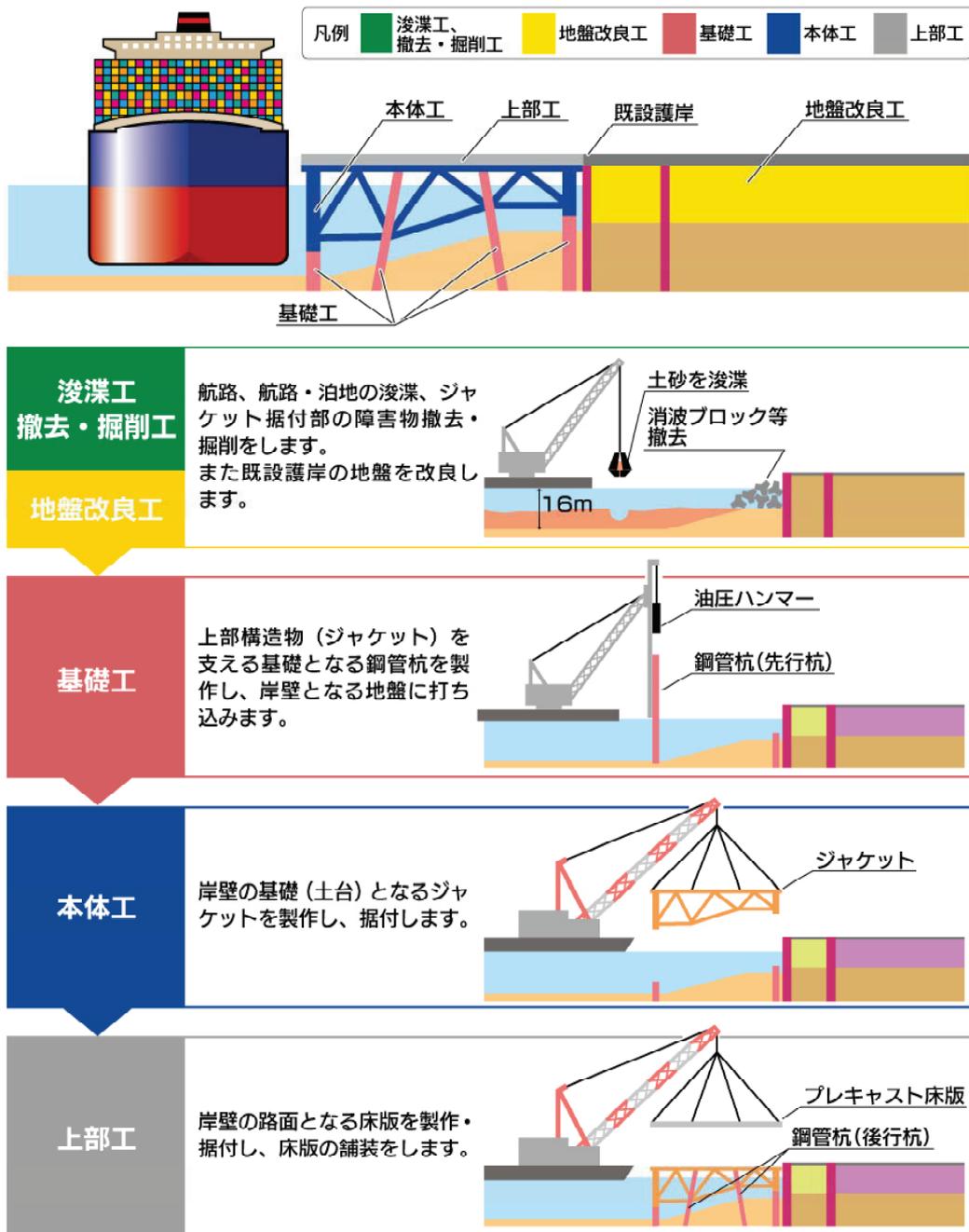
3. 位置図及び概要図



4. 平成22年度の事業予定

- ①岸壁（水深16m、延長400m、ジャケット式栈橋構造）（耐震岸壁）
細部設計を行うとともに、環境アセスメントの手続きを行います。
- ②航路・泊地（水深16m）
航路・泊地の浚渫を行います。
- ③航路（水深16m）
航路の浚渫を行い、23年1月に完了する予定です。

（参考）新国際海上コンテナターミナル整備事業の施工概要（ジャケット構造）



【継続】

とうきょうこうちゆうおうぼう はていうちがわ ち く ふくごういっかんゆ そう せいびじぎょう
東京港中央防波堤内側地区複合一貫輸送ターミナル整備事業
 平成22年度事業費：6.5億円

とうきょうとない
 東京都内

1. 事業の必要性及び概要

国土交通省では、我が国及び地域を支える物流基盤の整備を重点事項とし、環境負荷が少なく輸送効率の高い国内海上輸送の促進を図るため、複合一貫輸送ターミナルの形成を図ることとしています。

東京港は、国内における複合一貫輸送の拠点港であり、今後見込まれる内貿ユニット貨物需要の増加並びにRORO船の大型化に対応するためには、既存のふ頭ではこれ以上のターミナル拡充が困難であることから、中央防波堤内側地区に新たな岸壁（水深9m）を整備しています。また、構造を耐震強化岸壁とすることで大規模地震時には緊急物資輸送用岸壁として利用します。

※1 内貿ユニット貨物：雑貨などの物品を1つにまとめた貨物。

代表例としてコンテナやパレット及びシャーシを用いた貨物。

※2 R O R O 船：船の中に乗り入れたトラックから荷台だけはずして輸送できる貨物船。クレーンなどによる荷役時間が短縮でき輸送効率が改善される。

◎全体計画

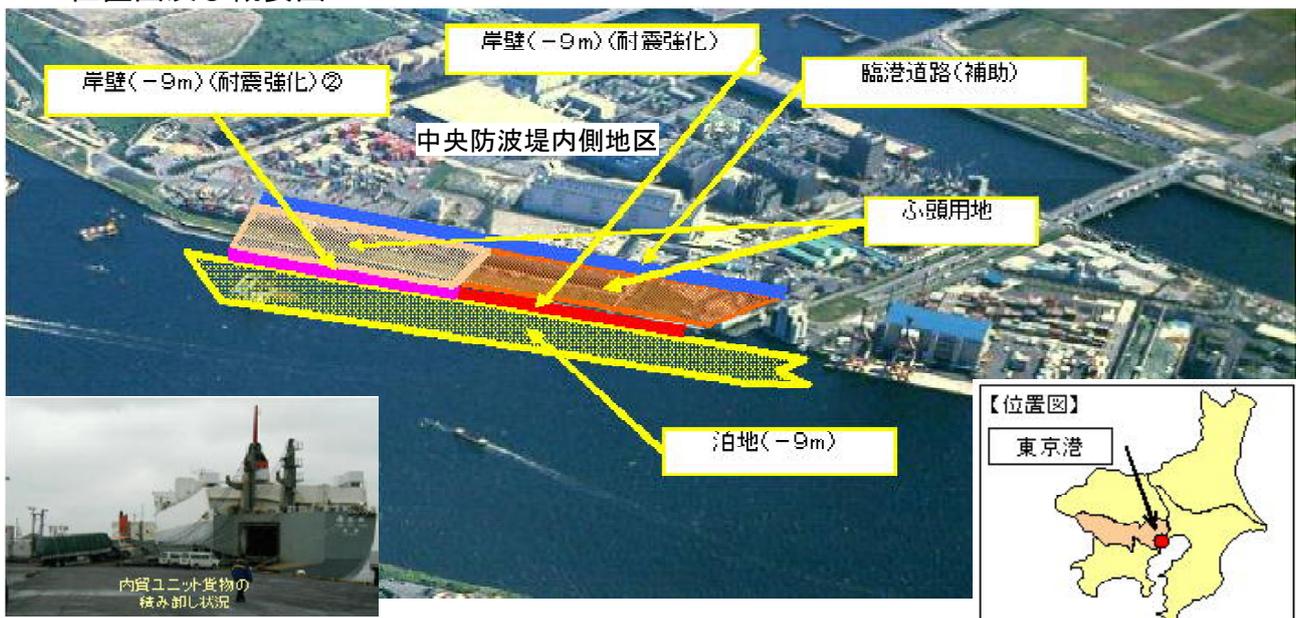
事業箇所	：中央防波堤内側
事業内容	：岸壁（水深9m）（耐震強化）、泊地（水深9m）等の整備
全体工期	：平成19年度～平成25年度予定

2. 期待される整備効果

新たに岸壁（水深9m）を整備することにより、RORO船の大型化、効率的な荷役に対応し、物流コスト削減に寄与します。

また、大規模地震時にも機能を維持し、緊急物資輸送用岸壁として活用します。

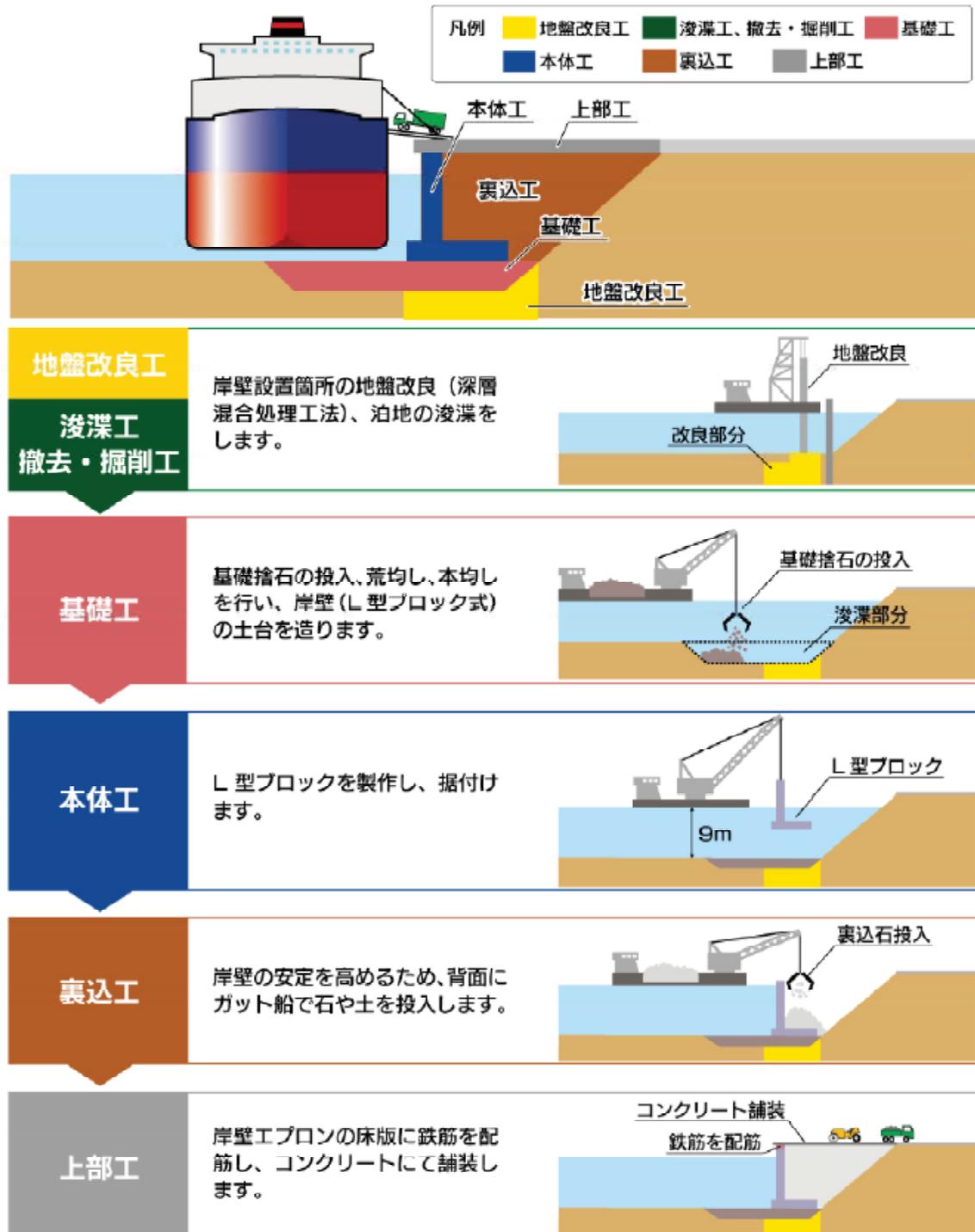
3. 位置図及び概要図



4. 平成22年度の事業予定

- ①岸壁（水深9m、延長460m、L型ブロック式埋立構造）（耐震強化岸壁）
 細部設計を行うとともに、埋立申請手続きを行い、土砂の撤去工事及びL型ブロックの製作等に着手する予定です。

（参考）新国内海上物流ターミナル整備事業の施工概要（L型ブロック構造）

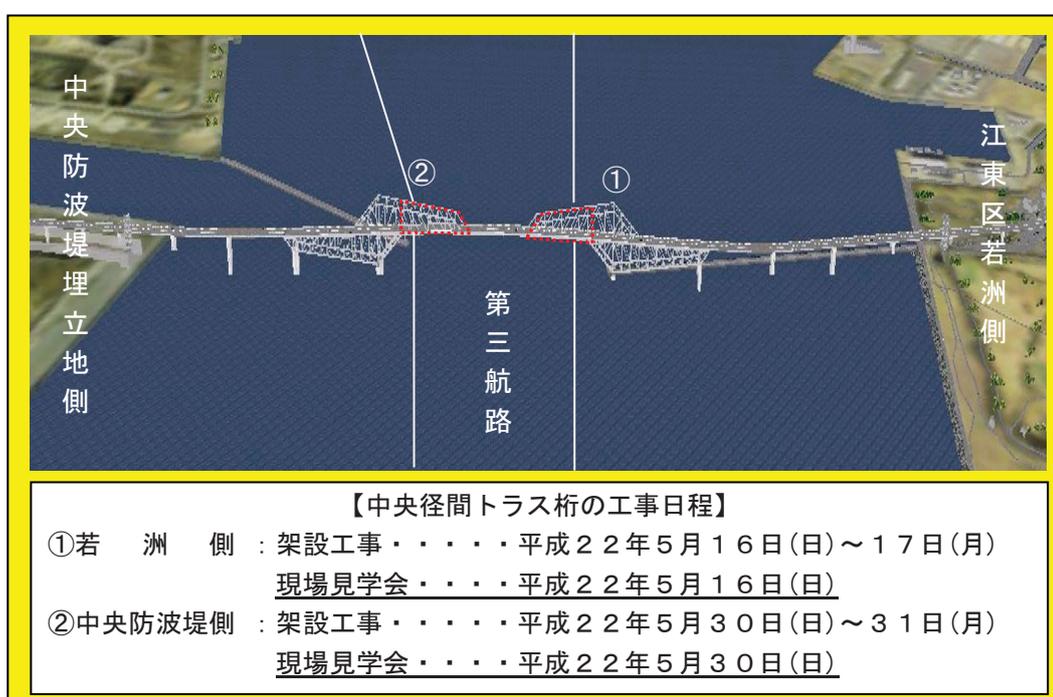


東京港臨海大橋（仮称）中央径間トラス桁架設工事の

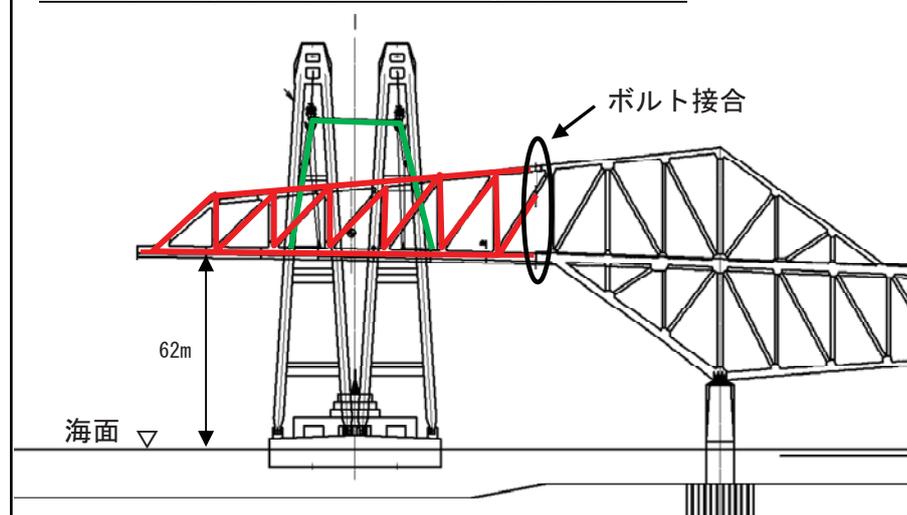
プレス向け現場見学会を行います

5月16日(日)～17日(月)及び5月30日(日)～31日(月)に、東京港臨海大橋の海上部で予定している2基の中央径間トラス桁の架設にあたり、プレス向けの現場見学会を開催致しますので、お知らせします。

今回の架設工事は、第三航路上において、大阪府堺市及び千葉縣市原市で製作した重さ約2,500トンの鋼製トラス桁（長さ約113m）を、3,700トン吊りの大型起重機船で吊り上げ、一括架設するものであり、船上より迫力ある工事風景を間近にご覧いただけます。



3,700t吊大型起重機船で、海上約62mの高さまで中央径間トラス桁（赤線部）を吊り上げ、一括架設します。



現場見学会（現場取材対応）の詳細について

中央径間トラス桁架設工事の実施にあたり、次のとおり記者の皆様への現場取材対応を行います。

【現場の取材時間帯】

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| (1) 若洲側架設 | 平成22年 5月16日(日) | 10:30~14:00 |
| (2) 中央防波堤側架設 | 平成22年 5月30日(日) | 10:30~14:00 |

【集合場所と集合時間】

- 集合・解散場所：新木場駅ロータリー（下図のとおり）
※当局のマイクロバスで船着場へ移動し、船舶で現場海域へ向かいます（所要30分）。
※現場海域での取材終了後、新木場駅まで移動し、解散（14:30頃）と致します。
- 集合時間：各当日の10:00までに新木場駅前の集合場所へお越し下さい（時間厳守）。

<集合場所案内図（新木場駅）>



【参加申込方法】

現場取材を希望される方は、それぞれ下記期日の午前中までに、国土交通省関東地方整備局東京港湾事務所企画調整課 相澤又は中野（TEL03-5534-1366、FAX03-5534-1368）までご連絡願います。

○申込み期限

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| (1) 若洲側架設 | 平成22年5月 7日(金) | 12:00まで |
| (2) 中央防波堤側架設 | 平成22年5月21日(金) | 12:00まで |
- ※取材される方のご氏名、所属、連絡先、取材ご希望日をお知らせ願います。
※移動手段の関係上、希望多数の場合は人数を調整させて戴く場合がございますのでご了承願います。

【留意事項】

- ・悪天候等により工事を延期することがあります。この場合、取材登録された方には電話連絡致します。
- ・当日の工事の進行状況により、取材終了時間が前後する場合がございます。
- ・当日の緊急連絡は、（公用携帯：090-5345-2179）へお願い致します。
- ・取材が長時間に及びますので、飲料・昼食等は適宜ご用意下さい。